

建築以外の様々な活動も積極的に行っています

2/25 さいたま湖畔サミット出場

埼玉県内の各地の水辺を使って様々 な取り組みを行なっている企業や団体 の皆さんがレイクタウンに集合しまし た。ホストエリアとして、越谷の水辺 での取組みをアピールしました。



今年で 14 回目となる雛めぐりが開催されました。他のイベントとの同日開催にもなり、多くの皆さんにお越しいただきました。



4/27 ● レイク UMI 開き・越谷水辺エール発売! 越谷レイクタウン・越谷全域

埼玉県知事のレイクは埼玉の海だ! 発言に基づきイベントを開催いたしま した。10 月からの本格民営化に向け た告知イベントとして越谷水辺エール の完成と水辺のアクティビティホビーの 運航開始を宣言いたしました。



6/15 ● くむんだーワークショップ

全国植樹祭の前年祭として企画された埼玉県のイベントに参加しました。 埼玉県産材をもっとアピールして使っていただく事で健全な森づくりや根本的な環境問題につながるものと思っています。



7/7 **ョ** 水辺で乾杯 2024 大相模調節池親水公園

毎年7月7日の午後7時7分に全国の水辺で乾杯する恒例のイベントです。我々は越谷のレイクタウンで毎年行っています。今年は新しく出来上がった念願の越谷水辺エールで乾杯することが出来ました!感無量です!



7/10 💀 第11回埼玉建築文化賞 店舗部門 優秀賞

これまでも何度かチャレンジさせて いただいる埼玉県内の建築文化賞で 今回は「はかり屋」で店舗部門の優 秀賞を頂きました。設計者、技術者と しても励みになります。



7/12 命 埼玉県リバーサポーターズプレゼン ウェスタ川越

県内の河川応援団「リバサポ」の 発表会で、越谷の水辺での取り組み を紹介させていただきました。県内各 地での水辺活用、水辺活動が活発に 進んでいます。



7/21 レイクアンドビーチ 2024 大相模調節池親水公園

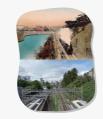
真夏の夜の祭典レイクアンドビーチが今年も夕方から夜にかけて開催されました。今年は越谷水辺エールの完成お披露目をメインとしてビアフェス的なイベントとなり、ステージやワークショップも大いに盛り上がりました!



/ けやきな舞台袖 ・・・



今号も最後までお読みいただきありがとうございました。 しばらく振りで、お伝えする内容が盛りだくさんになりました。 日々大きな変化はありませんが、少し振り返ると大きく 変化していることに気が付きます。常々思うことは、その変 化の中で自分の活動が自己満足になっていないか?本当に 世の中の為になっているか?ということです。建築づくりは 自己満足と現状維持に陥りやすい領域でした。次のフェーズではより目的を明確にし、社会の役に立つ活動に邁進したいと思います。今後とも私どもの活動にご支援ご協力を お願い申し上げます。



高橋です!大学院に入学した今年度は、研究に加え講義や就職活動もあり、忙しい毎日です。現在は、江戸城の外濠、四ツ谷駅周辺を敷地とした設計課題に取り組んでいます。写真は、江戸時代と現在の様子を比較する敷地調査の様子です。卒業設計で得た学びを活かした刺激ある時間になっています。健康第一に楽しい日々を送りましょう!

2024年10月1日発行 2024 AUTUMN Vol.38



KEYAKI OFFICIAL MAGAZINE

vol. 38

2024 AUTUMN



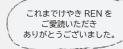
順声平語

2005年に地元越谷で小さく産声をあげた「けやき建築設計」ですが、今年2024年は設計活動を始めてから20年目の節目の年にあたります。この20年間で木造建築を巡る環境は大きく変化し、様々な経験と共に自分の考え方や求められる事も変化をし続けて来ました。

一貫して取り組んできた事は、現場感を 大切にする事。真実を知る事。何が本質な のかをしっかりと見極め、出来上がるもの が最良になる為の作戦を練ることでした。 その為に具体的に取り組んできた事が、い わゆる「デザインビルド」です。

元々木造建築は大工棟梁が全体を統括し、施主とのやり取りをしながら設計施工を同時に行なってきた領域です。デザインが構造や構法といった技術的な側面に影響を受けやすい木造建築は設計(デザイン)をする時点で施工(ビルド)をイメージ出来て

[第23回] 次のステージに向けて





越谷で小さく産声をあげた いなければ、美しく力強く安全な建築には 」ですが、今年 2024 年は なりません。いわゆる設計施工一貫体制で ないと、本当に良いものは出来ないと言っ ても過言ではないと思っています。 そういった理由から「デザインビルド」

を取り入れる為に、2011年に施工部隊「欅組」を設立し、素晴らしい職人さんたちとの組(チーム)を形成し、設計と施工を同時に行なっていくスタイルを続けてきました。このスタイルを続けていく中で、求められ始めたのが、空き家や空き店舗活用です。多くが古い木造建築で、新しい機能に生まれ変わらせる為には「デザインビルド」の能力が問われました。

住宅から店舗、納屋からカフェ、小屋からギャラリーなど、コンバージョン (機能転換)には高い知識とデザイン力も求めれられます。そしてこれらの建物は地域を代表する建物へと蘇り、まちを彩りはじめま

した。自分が求められる事は徐々に単体の 建物をつくり、修繕していく事から地元の まちをデザインしていく事へ移りつつあり ます。

今号をもって、約12年間続けてきたけやき REN の発行を最終回とすることにしました。けやき REN は「けやき建築設計・欅組」の仕事や活動の情報発信として行なって参りましたが、近年ではまちづくりに関する発信が多くなり、個人や団体としての活動も増えてきた事から、発信手段を変えることにしました。

もちろん建築の仕事を止めてしまう訳で はありません(笑)仕事の範囲をよりまち づくり寄りに、計画や設計を中心に活動を 加速させていきたいと思っております。

引き続きご指導ご鞭撻をよろしくお願い 致します。

発行/編集 株式会社 けやき建築設計・欅組

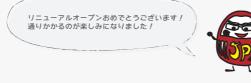
〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷 4-28-22 TEL: 048-966-2268 FAX: 048-633-9629 けやき建築設計: https://www.keyaki-sekkei.com/



クローバー ブーケット

CLOVER BOUQUET

街道沿いを彩る花屋さんの店舗リニューアルを行いました







最初にこの店舗を訪れた時に、地域にとっての花屋さんの役 割の大切さを実感しました。花屋さんは道を行き交う人たちの 目に入りやすい存在です。色とりどりの花々が勝手に目に入っ てきます。つまり花屋さんはまちを彩る存在として重要な存在で す。旧店舗は雑然とした雰囲気が外に滲み出ていました。リ ニューアルのポイントとして、花たちがより整理された形で外に 表出される事と、外側から中の店舗がよく見渡せる事を意識し ました。内部は高い天井から格子を吊り下げ、空間に広がりと 流れを作りだす仕掛けとしています。一方で重圧感のあるレジ カウンターと存在感のある花台にした事で、落ち着いた雰囲気と なりました。奥行き感のある店舗になった事で、街角がさらに楽

しく美しく演出され、越 谷の価値が上がったよ うに感じます。



越谷市

高齢のお母様と一緒に暮らす為の大規模修繕を行いました









な計画としています。これによって、外部からの玄関へのアクセ スがしやすくなり、廊下が無くなった分居室のスペースが広がり

外部からのアプローチの距離が確保できず、玄関の位置を変ました。新しく移動した玄関は木製の引戸とし、ポーチには県産 える大きな決断をしました。今まで廊下を介してアクセスしていが材の杉をたっぷりと使った下屋根を増設しました。外構の扉も たダイニングキッチンやリビングをほぼワンルームとして、広々と 製作した事で、アプローチに統一感が出ました。2階部分には したリビングダイニングキッチンに直接玄関からアクセスするよう
手を付けず、全体的な予算も意識しながらの工事となりました。

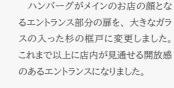


殺風景だった外観が

気に華やかになったね







目白台の家

納屋のドイツ菓子工房 Dackel

計画から完成まで1年

以上の時間をかけ、じっ

くりと進めてきました。建

物の造りは良いものの、

農家の納屋として建てら

れた建物を衛生環境が問

らせるには相当な配慮が

必要でした。販売スペー

スには納屋であった痕跡が残るデザ

インとし、作業スペースは衛生面を確

保する為にしっかりと区画をしていま

す。また、外部についても納屋であっ

た事が分かるように出来る限り以前の

ままのデザインを残し修繕を行いまし

農家の納屋をお菓子屋さんへとコンバージョンさせるプロジェクトです

た。地域の皆さんからは、一体何が出来るのか?と興味深々でした。

10/5 オープンを迎えました。 ドイツのお菓子が楽しみ!

日本料理店の店舗内装工事です

はかり屋の中に新しく入った日本料理店

の店舗内装工事です。桧のカウンターや壁

面が印象的な落ち着いた空間になりまし

た。拘りのお料理と共に純和風の雰囲気も

バーグマン越谷店

お楽しみください。



何度か改修を重ねている旧家の修 繕です。今回は強風時に倒れ掛かっ てしまった板塀の修繕を行いました。 修繕のしやすい建物だからこそいつで も修理が可能なのです。

虹だんご



越谷の人気団子店でもある虹だん ごさんの建物老朽化に伴い、建物調 査を行いました。今後どの様な改修を 行うべきかアドバイスをさせていただき ました。

歴史と共に生きる家

旧家の再生と複数の建物の計画を段階的に行なっています



第一弾として昭和の時代に母 屋に増築された部分を減築解体 J、百年後も残していける部分 だけを設定しました。切り離した (切除面) 部分の屋根や壁の納 まりと仕上をどのようにするのか が課題となりましたが、最終的に は写真の様に卯立(うだつ)壁



風の簓子下見板張り(ささらこしたみいたば り)としました。激しく雨風の当たる壁となる 為、外壁に相応しい赤味の張った埼玉県産 材を産地から調達し、素晴らしい板壁が完 成しました。他には敷地内に残るお稲荷さん

を守る四阿(あずまや)の再生も行ないました。全体的に歪みが激しく、 次の大きな地震で倒れてしまうような危険な状態で ありました。屋根を解体し、柱を上げながら全体の 歪みを調整しました。北側の物置部分を利用して全 体の固定度を高めています。今後は隣地境界に大 和塀を設置し、最後に住居部分の新築と続いて参 ります。今年のビッグプロジェクトのひとつです。









水辺のコンテナ

水上に浮かぶコンテナ計画です

越谷市の大相模調節池周辺で進行中の 水辺事業として、水上浮桟橋上のコンテナ 計画と県道沿いの建物設計が行政と調整 しながら慎重に進められています。





希望の郷増築棟



精神障がいをお持ちの方々が日常 生活をしている施設の増築棟計画で す。多目的室では柱の無い大規模空 間を計画しております。



